

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

不況の時こそ四つの創意工夫を重ねる 稲盛 和夫 (京セラ名誉会長)

- 現在の金融危機は人間に対して、自然が、あるいは神が、猛烈な反省を求めているものだと思います。「もっと豊かになりたい」「もっと便利な世の中にしたい」という人間の欲望が科学技術の発展を促し、近代の文明社会を築き上げました。しかし、そんなに欲ばってばかりではどうなるか。「満つれば欠ける」というのが、やはり自然の道理です。欲望が膨れ上がって満つれば欠けるのは当然。それを見せつけたのが今回の危機だと思います。
- 今こそ人間は「足るを知る」という謙虚さを学ばなければなりません。企業経営者は、常に謙虚な姿勢をもって経営に当たるべきです。現在の社会現象は、そういうことを教えてくれているものだと思います。企業というものは、社会にとって必要な存在でなければ発展しないし、存続もしない。独善的な経営ではなく、社会に喜んでもらえるような企業経営を目指すべきです。
- 優れた経営者は皆、不況を次の成長のチャンスと考えます。過去の不況時にはこう言ってきました。第一に、確かに大変な時期だけれど、悲観的になるのはやめよう。第二に、一致団結しよう。不況になると、社内にはいろいろな不協和音が生じてきます。だから、不況の時こそ団結しよう。第三に、皆で創意工夫して少しでも経費を減らす努力をしよう。それが生き残るための絶対条件だと。第四に、全員が営業マンという気持ちで注文を取ろう。今までの得意先ばかりでなく、行ったことのないお客様のところへも扉をたたきに行く。不況の時こそ、こうした創意工夫を重ねることが次の発展のきっかけになります。

(参考:「日経ビジネス」2008年11月10日号)

経営者のための理念・哲学

慈心相向 麻生諦善 (寿経寺「東京都文京区」住職)

- 今は「真理とは何か」「人生どう生きるべきか」など垂直的な思考がしにくい世の中です。情報化や国際化によって思考の水平化、多様化は進みましたが、心のよりどころとなる人生の指針を見つけることができないため、一人で悩み苦しんで自殺をしたり、突然「キレて」理不尽な殺人に走ったりする人が出てきます。
- 無常というお釈迦様の教えは、宇宙の法則、自然の法則そのものです。「ものごとは、すべて移り変わっていく。形のあるものは必ず壊れる。生きているものは必ず滅する。だから死んじゃいけない。今、生きていることを大事にしなければならない。今は格差を是認する排他主義や協調性のない利己主義がはびこる時代ですが、仏様の前で「慈心相向」(慈しみの心で向かい合って対話)していけば、人間関係は改善できるはずです。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2008年11月8日号)

まちの活性化策

コンパクトシティの効果

- 2005 年を境に日本は人口減少社会に突入した。本格的な人口減少時代を迎えて、グランドデザインのないまま無秩序なまちづくりが続けば、人口密度が極端に希薄化し、経済活動が低迷するだけでなく、コミュニティが崩壊する地域も現れてくる可能性がある。こうした状況の中で注目されているのが、「コンパクトシティ」という概念がある。
- コンパクトシティは「住民の活動(居住、企業活動)密度が高く、効率的な空間利用がなされるまち」を意味する言葉である。幾つかの自治体は、コンパクトなまちづくりがさまざまな果実をもたらしている。まず一つ目は、サービス業を中心とする産業活性化、二つ目は、高齢社会に適したまちづくりの推進、そして地方財政の健全化という効果がある。(参考:「野村週報」2009年1月12日号)

古典に学ぶ

教育の使命

「教育が、民族の運命に対していかなる意味を持つかという問題については、今さら喋々^{ちやうちやう}するまでなく明らかなことであり、この点については一応よく分かっていることだと思います。すなわち教育は、次の時代にわれわれに代わって、この国家をその双肩に担って民族の使命を実現してくれるような、力強い国民を創り出すことの外ないのです」

(参考:森住三「修身教隠録抄」:致知出版社)